

自治労本部公式
Instagram
はじめました。



@JICHIROHODO

自治労新潟

自治労新潟県本部機関紙

全日本自治労連合会新潟県本部発行 ■新潟市中央区新光町6-7(自治労会館) ■定価1部5円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

当面の日程

1月28日(火)～29日(水)
自治労中央本部第167回中央委員会 (Web開催)
1月30日(木)
2024年度第2回賃金労働条件担当者会議 (新潟自治労会館)
2月6日(木)～12日(水)
「いのち・愛・人権」新潟展 (新潟市・北区文化会館ほか)

第1回拡大単組代表者会議

一年のたたかいをスタート

単組・県本部総体で処遇改善をめざす

県本部は毎年1月に拡大単組代表者会議と「春闘討論集会」、旗開きを開催し、翌日に折々の課題をとりあげた「新春セミナー」を開催している。今年は1月10日から11日にかけて新潟東映ホテルで開催した。

拡大単組代表者会議には31単組86人が出席。登坂崇規執行委員長は衆議院議員選挙をはじめとする2024年を振り返り、あいさつの冒頭では相次ぐ災害対応にあたる組合員に敬意を表し、働くものの要求確立にあたり「役員だけの取り組みでは前進はない。質上げ・人員確保・政治闘争などあらゆる課題について取り組むの意義を組合員に伝え、国や省庁への要請を求める意見や「確定期では子の看護休暇の対象拡充要件緩和を勝ちとった」

会議では2024現業公企統一闘争・確定闘争の間総括のほか、25春闘方針や地域医療を守る取り組み、どちら共済の推進など、当面する課題について提起を行った。

質疑では18人が発言。再

任用職員の一時金課題について、国会や省庁への要請

を求め、国や省庁への要請

は子の看護休暇の対象拡充要件緩和を勝ちとった

「春闘期はワークライフバランス実現のために開庁時間短縮を求める」「県内で

重大な医療格差が発生しないように、適正な財源確保が必要」などが発言され、それぞれの課題を確認した。

「春闘討論集会」では、宮越勇人賃金労働部長を講師に「指定管理者制度における賃金スライド制度」について講演を行った。宮越部長は「賃金スライド額の算定には民間給与実調や最低賃金関係しており、官

民で影響しあっている」と説明。「制度導入だけでは処遇改善としては不十分だが、安上がり行政に事業者を巻き込ませてはならない」と訴えた。

打越さくらが語る本当の多様性

新春セミナー・市民と野党の街宣行動

11日の「新春セミナー」は、打越さくら参議院議員を講師に「旧(ふる)い制度の壁を取り払う! 本当の多様性を実現する政治へ」をテーマとした講演会。

はじめに日本の男女間賃金格差が主要国と比べ大きいことや産業間格差、はたらく女性を取り巻く環境について解説。「少子化対策



や長時間労働規制が必要であるが、そうした対策が新たな分断を生まないようにしなくてはならない」と呼びかけた。また、選択的夫婦別姓について、夫婦同姓を義務付ける民法の規定を見直すよう4回目の改善勧告があったことを紹介し、DV被害者の救済をはじめとする「弁護士 打越さくら」としてのエピソードを交えながら「現政権が主張

参加者からの様々な質問に対して回答する打越さん(1月11日・新潟東映ホテル)

民間労働者の賃上げの必要性について講演を行う宮越勇人賃金労働部長(1月10日・春闘討論集会)



あなたの声ではじまる
春闘
2025春闘

1年の闘争は、あなたの「批准投票」から始まります

自治労は、年間を通じてすべての単組で人員確保、賃金・労働条件改善のための、闘争に取り組みます。要求実現に向けて、各単組は要求・交渉や集会等に取り組みますが、最終的にはストライキを構えて当局に対し強い姿勢で臨まなければなりません。

各単組での闘争は、自治労本部(自治労中央競争委員会)の「闘争指令」をもとに行われます。1年のたたかいはスタートの春闘期に、ストライキ(1闘争ごとに2週間を上限)の可否の判断を含む闘争指令を自治労本部に委ねることについて、組合員の承認を求めるものが「批准投票」です。組合員のみならずの結束と要求実現への意思を示すものであり、ストライキを行うための投票ではありません。

組合員の声を集め、全国の仲間と一歩前へ踏み出すための大きな力になります。

自治労
UP
自治労事務局(ベアアップ)

スト批准投票
100%の批准投票率をめざそう!

ストライキ批准投票は、年間を通じて「一波につき2時間」を上限とするストライキを含む闘争指令権を中央競争委員会に委譲することを組合員に承認を求める重要なものです。すべての組合員が投票し、高い批准率とすることにより、組合の団結の力と意思を示すことができ、交渉にむけて大きな力となります。

「あなたの声」を反映させるため、批准投票への積極的な参加をお願いします。

投票期間 2月3日(月)～13日(木)

参議院議員(自治労組織内議員)
岸まきこ とともに
自治労の政策要求を実現しよう!

公式HPや各種SNSで、日々の活動を発信中!

戸惑い一歩前へ

自治労は、第27回参議院選挙の全国比例区に「岸まきこ」参議院議員の擁立を決定しました。

年末年始も終って月曜日から仕事始め。体は重いし、あちこちの職場から「PCのネットワーク切り替えセッティングを6千人が『ヨイドン』」した結果、動かない」と。行政のDXでICT担当課の皆さんも懸命に頑張っているのだから、足元のハードが弱すぎるとおじさんたちは心配する▼働き方改革をうたい、増え続ける業務には効率化とデジタル化、生成AIで人減らし。デジタル人材を育成して行政サービス向上?最近の行政改革ですかね▼「簡素で効率的な」というワードを聞いて数十年が過ぎた。もとは国の「スリムで効率的な政府の実現」という閣議決定された行革方針に自治体職場と職員も巻き込まれ、同時に行政改革という題目を必要とした規制緩和が生み出す「利権」によって、すべての勤労者が被害者となった。うーん、略しすぎたかな▼みなさん連休はどうでしたか?仕事のことを考えない日が休日、それが常識なんですよね。そんな当たり前のことを願ってしまう今の職場環境。賃上げと人員増にむけ、はじまる春闘。すべての労働者に影響する政治。今年の夏は参議院選、労働者が怒りの声を、こぶしを上げる時がやってくる。(眠龍II)

みんなの味方 (84)

あなたの一筆が未来を変える！ 県民投票条例制定

上越市議会議員
山 本 佳 洋



柏崎刈羽原発再稼働の是非を問う県民投票条例制定にむけた署名活動が、まもなく完了する。

県民投票条例とは何か？

私たちの暮らしに関わるルールを決める条例は通常、市長や議員が提案するが、私たち市民も必要な署名数を集めれば条例提案を直接請求できる。今回求め



る県民投票条例は、原発再稼働について、県民一人ひとりが投票で意見を表明し、その結果を県政に反映させることができるようにするものだ。

上越の市民団体と署名提出にむかう山本佳洋市議員

すでに直接請求に必要な署名数が集まっており、3月中旬には知事に提出。その後、県議会で議決されることとなる。可決されれば、いよいよ県民投票条例が公布されることになる。

なぜ、県民投票条例が必要なのか？

東京電力は柏崎刈羽原発の再稼働にむけて着々と準備を進めている。政府も再稼働を強力に後押ししてお

り、新潟県も条件整備を進めている状況だ。しかし、原発の再稼働には多くの課題が残っている。特に、大雪に見舞われる状況下での実効性のある避難計画は明らかにされていない。また、昨年の能登半島地震を受けて、新潟県沿岸部にも津波や地盤隆起などの影響を与える可能性もある。原発の安全性は改めて検証する必要がある。

そしてこの間、柏崎刈羽原発では設備の不備や不祥事が相次いでいる。東京電

力の安全管理体制には不安を抱かざるを得ない。原発の再稼働は、私たちの生活、そして未来を左右する重大な問題である。だからこそ、県民の声を直接反映できる県民投票条例が必要だと考える。

地方自治の本旨を守る

12月の上越市議会。私は改正地方自治法に関して、国が地方自治体に指示できる「補充的指示権」は、地方自治の本旨をないがしろにする恐れがあると一般質問で見解を質した。上越市

長は「地方の自主性と自立性を尊重すべき」との答弁であった。議員の中には「国策である原発問題は県民投票になじまない」と主張する声もあるが、地方自治の本旨を守り、14万筆の署名に込められた県民の声にこたえるべきである。

花角知事は再稼働の是非について「県民に信を問う」と再三発言している。県民の意思を確認するには県民投票は最適な選択。条例を制定すべきである。

命こそ宝

—青年女性オキナワ平和の旅に参加して—

国保連合会労組 吉 橋 淳 也



ガマの出口で現地ガイドの説明に耳を傾ける参加団 (12月8日)

本部青年部・女性部では、沖縄の「歴史」と「今起きていること」を私たち一人ひとりの問題として考えるため、毎年12月に「オキナワ平和の旅」を開催しています。今年は新潟県本部から6人、全体では34県本部169人が参加しました。県参加団長の報告をお届けします。

初日は沖縄戦の歴史や現状、私たちが平和運動について取り組む意義について学び、2日目のフィールドワークに臨みました。多くの訪問先の中でも「糸数アブチラガマ」が最も印象に残っています。

「ガマ」とは自然洞窟のことであり、このガマは全長270メートルにも及びます。戦時には住民の避難場所や日本軍の地下陣地、倉庫として使用されていたが、戦況が悪化するにつれ、陸軍病院の分室としても使用されました。中は生ぬるく、暗く、当時の劣悪な環境を彷彿とさせるものでした。ガマの中で、現地住民は入口に一番近い場所に避難させられ、軍隊は比較的安全な奥へ陣取っていました。日本軍は泣いている子どもを「米軍に発見されるから」という理由で殺害。ガマから出ようとしても「非国民」と判断し殺害していたそうです。私自身、ガマを訪れ、現地ガイドの話聞いたことで「軍は国を守るが国民は守らない」の本当の意味や自治労が平和運動に取り組む意義を理

解できました。そして、オキナワで起きたことを未来へ継承していくためにも、過去と向き合い、仲間に伝

公立・公的病院への支援を

厚生連労組が街頭で市民へアピール



新潟県厚生連労働組合は1月11日に、新潟市・万代で地域アピール行動を実施した。約40人が参加したアピール行動では、組合員がマイクを持ち、日頃の仕事や病院職員への処遇改善、公立・公的病院の重要性と支援強化などを訴えた。

厚生連労組の和田祐輔執行委員長は収支悪化から分婉機能を休止とする村上総合病院を例に「医療は当たり前にあるものではない。地域の医療が進められている医療再編の現状に自分事として関心をもつてほしい」と地域医療体制の重要性を訴えた。

小千谷総合病院の田中美奈子さんは「過酷な労働環境の現状を報告し支援強化を訴える田中美奈子さん（厚生連労組）」

境から離職する職員が増えている。このままでは適切な医療の提供は難しい」と支援強化を訴えた。

県内で11病院を経営するJA厚生連は、昨年7月に病院経営の赤字額が60億円超となる見込みだとして、職員の賞与大幅カットや不採算経営となっている病院の機能集約や病床削減を進めている。

県本部では引き続き、連合新潟や組織内・協力議員と連携した取り組みを行っていく予定だ。

がありま

こくみん共済 NEWS

5123B018

住まいる共済

火災共済・自然災害共済

「住まいる共済」は、火災共済と自然災害共済をあわせた呼び名です。

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください

こくみん共済 (全労済)

自治労共済

推進本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

契約にあたってはパンフレットをご覧ください

住まいと家財の安心のため
降雪・降ひょうによる損害なども
自然災害共済の守備範囲!

ベーシックとエコノミーの2つのタイプがあります。

保障が手厚いベーシックがおすすめ。

火災共済に付帯してご利用ください。

制度改定で POWER UP

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

自治労本部公式
Instagram
はじめました。



@JICHIROHODO

自治労新潟

自治労新潟県本部機関紙

全日本自治労団体労働組合新潟県本部発行 ■新潟市中央区新光明6-7(自治労会館) ■定価1部5円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

当面の日程

2月6日(木)~12日(水)
「いのち・愛・人権」新潟展
(新潟市・北区文化会館ほか)
2月10日(月)
柏崎刈羽原発運転差し止め訴訟第46回口頭弁論・入廷行動
(新潟市・新潟地方裁判所)

原発再稼働の是非 県民が決める

県民投票を求める署名 14万筆を超える集約

重い14万6千筆の「声」 是非を県民投票で決める
「柏崎刈羽原発再稼働の」(以下、「県民投票で決める会」)は、再稼働の是非を問う県民投票の実施を求め、昨年10月から署名活動を開始。現在までに、直接請求に必要な数の約4倍にあたる14万6千筆を集めた(1月26日時点)。



「県民投票で決める会」は14万筆を超える署名数を集約したことを報告(1月7日・新潟県庁)

員にしっかりと受け止めてもらう。今後はそれが私たちの取り組みの課題になってくる」と述べた。同団体は3月中旬に県に署名簿を提出し本請求を行う予定。その後、花角知事は条例案に対する意見を付して県議会に提出することになる。

「市民検証委員会」が指摘する課題
原発の安全性を議論する「技術委員会」で残されている課題として挙げているのが東京電力の安全対策・安全文化への不安と地震による被害の影響だ。この間の度重なる東京電力による不祥事は管理能力に疑問を残す。また、地震による地盤沈下も懸念されており液状化が発生すれば施設の破壊は免れない。

避難計画の実効性でも課題が残されている。特に大雪の日と原発事故が重なった場合の避難はどのように行うのかなど、検証は十分だ。

新潟県は今年、1月25日から26日にかけて柏崎市などで冬場を想定した原子力防災訓練を実施した。「県内各地で数十センチの積雪がある中、震度6強を観測し、運転中の原発の冷却機能が一時失われた」などと想定し、各地の訓練はスムーズに進行したものの、当日の雪は少量で本来の目的を果たせたとはいえない。参加した住民からは「想定している趣旨と違いすぎて果たして訓練となったのか」などの声が上がった。

県民投票の実施求める
花角知事は原発の再稼働の最終判断にあたり「県民の信を問う」と何度も表明している。県民投票は県知事が判断する有力な判断材料の一つ。14万筆を超える署名の数の重みを受け止め、県民投票条例制定が議決されることを求める。

雪の日と原発事故が重なった場合の避難はどのように行うのかなど、検証は十分だ。

新潟県は今年、1月25日から26日にかけて柏崎市などで冬場を想定した原子力防災訓練を実施した。「県内各地で数十センチの積雪がある中、震度6強を観測し、運転中の原発の冷却機能が一時失われた」などと想定し、各地の訓練はスムーズに進行したものの、当日の雪は少量で本来の目的を果たせたとはいえない。参加した住民からは「想定している趣旨と違いすぎて果たして訓練となったのか」などの声が上がった。

県民投票の実施求める
花角知事は原発の再稼働の最終判断にあたり「県民の信を問う」と何度も表明している。県民投票は県知事が判断する有力な判断材料の一つ。14万筆を超える署名の数の重みを受け止め、県民投票条例制定が議決されることを求める。

「無くてせない」池上医師は不足する産科医体制の中、病院間近に単身で暮らし夜間・休日の分べんを担う。一方、施設の減少で出産が過度に集中した総合周産期母子医療センターの職員は「受入制限」の決断を悩み、葛藤する。母と子の命を守る「些」の現実に関わり、新潟県内でも医療再編が進む。一方、議論途上に廃止や縮小が相次いでいる。理由は「赤字」だ。▼「いのちの告」の将来を構想する前に、皆が壊れては、その土地での暮らしや営みは諦めるほか無い。同時にいつまでも皆の守り手たる従事者の献身や自己犠牲に頼り、人件費抑圧を続けては、守り手も去り、遠ざかるだろう。皆と守り手たちを支える施策と対策の実行は急務だ。将来の社会や福祉、生命や健康を自分ごととして考える必要を強く感じた朝だった。(マルゼン)

となりのくみあい
何してる?

職場の声を市議会へ 新潟市労連 協力議員との意見交換会

1月22日、新潟市労連では今年度2度目となる「協力議員との意見交換会」を開催。当日は出席した7人の協力議員と職場の課題を共有する機会となった。

人事委員会対策を協議

意見交換会は昨年8月に

一回目を開催。地域手当てについて、今回の人事院勧告で新潟市が非支給地となった経過や手当の趣旨を含む公務職場の賃金構造について説明してきた。意見交換会以降も情報共有を重ね、昨年の9月議会では協力議員の青木まなぶさんが「国の人事院勧告を受けての新潟市人事委員会として適切

潟市の対応」を質し「賃下げは極めて多忙な環境の中で仕事に従事している職員の士気へ悪影響を与える」「削減超過となった人員の回復計画を示して欲しい」と質問し、当局の「地域手当を含む諸手当や俸給は各要素を総合的に勘案し、新潟市人事委員会として適切



議員からの多角的な質問が単組の取り組み補強へつながることも多い(1月22日・新潟市)

な勧告を行う」「早急に正規職員の配置ができるよう

に採用を進める」との答弁を引き出した。結果、新潟

今後の課題を共有

市人勧では「人材確保が深刻な課題である」として地域手当維持、再任用職員の一時金引き上げ勧告につながった。

代弁者と力あわせ

意見交換会を年度内で複数開催としたのは初の試み。新潟市労連では、現場の実態や組合員の声を直接伝えるこの取り組みを今後

も継続して実施していく予定だ。

自治労新潟
新年号

当選・入選決定!!

たくさんのご応募ありがとうございます

「自治労新潟」新年号の各種当選、入選が決定しました。クロスワードパズル1354通、書き初め135点、まんがイラスト139点の応募がありました。当選・入選の賞品発送は近日中に各所属の組合へ送付します。

まんがイラストコンクール

県本部まんが集団コメント

【大賞 小人・大人 各1本 すし券5千円】
河内かなた(まさと 村上市職)

2025年の新年号まんが・イラストコンクールのテーマは「宝くじで1億円当たったら何に使う?」でした。

【中賞 小人・大人 各1本 すし券4千円】
細山 泰太(美 柏崎市職)

大笑は『飛行機や客船での世界旅行』と『虫たちにじゃまされて1億円がつかえないイラスト』、中笑は『1億円のフロに入って使

【小賞 小人・大人 各1本 すし券3千円】
伊藤 美侑(聡 加茂市職)

いみちを考えている人』と『宇宙にすみたいという楽しい絵』、小笑は『パラグライダーでの世界一周』と『自分の好きな趣味につか

イラストコンクール

大賞作品



大笑 小人・小学生以下の部
河内かなたさん
(まさと 村上市職)

大笑 大人・中学生以上の部
山本 紀子さん
(新発田市職)

応募作品には、家を建てる、世界一周、1億円のおフロ、ほしいものを買う、貯金や寄付などの思い出のイラストがあり、とても楽しく審査させていただきました。今回のイラストコンクールも楽しみにしていますので、たくさんのお応募をよろしくお願いします。

書き初め

受賞者

●小学生低学年の部

【特選 すし券1万円】
安中 咲莉(利穂 加茂市職)

【準特選 カタログギフト5千円】
久保田章仁(幸 巖手県職)

【金賞 図書カード3千円】
白井 綾乃(千秋 南砺市職)

佐藤美花子(州子 長岡市職)

【入選 図書カード1千円】
角谷 咲花(朝 南砺市職)

相田 柊乃(祥平 加茂市職)

伊藤 愛乃(聡子 加茂市職)

●小学生高学年の部

【特選 すし券1万円】
服部 諒介(勲 十日町市職)

【準特選 カタログギフト5千円】
佐藤 紇芽(沙織 魚沼市職)

先川 芽生(幸宏 胎内市職)

【金賞 図書カード3千円】
山崎莉々(達也 見附市職)

須田 鈴(大輔 佐渡市職)

【入選 図書カード1千円】
伊藤 美侑(聡子 加茂市職)

伊藤 みのり(林太郎 阿賀町職)

高橋 詩(紀 十日町市職)

●中学生・高校生の部

【特選 すし券1万円】
上村 紫音(美 十日町市職)

【準特選 カタログギフト5千円】
大野 未里愛(摩里 厚志市職)

【金賞 図書カード3千円】
諸橋 心優(将一 胎内市職)

【入選 図書カード1千円】
大野 留愛(摩里 厚志市職)

諸橋 優空(将一 胎内市職)

坂大 日胡(聡 魚沼市職)

●一般の部

【特選 すし券1万円】
吉田多美恵(新潟市職)

【準特選 カタログギフト5千円】
島田 智美

(松井陽萌 県職)

沼支部(魚沼基幹病院)

【金賞 岩の原ワイン】
にり造り(ロゼ・白)

金子 秀光(県職)

【入選 岩の原ワイン】
(深雪花 赤)

大野 麻里子(厚生連)

油谷 真弓(長岡市職)

五十嵐 貴奈美(悠里 糸魚川市職)

菅家 利子(加茂市職)

大関 穂香(県職)

講評 菅井松雲さんコメント

今年の書き初めコンクールは、ベ切日が早かったのか応募数はやや減であった。前もっての告知が必要なのかもしれない。巳年(へび)は脱皮を繰り返しながら成長するということから「新しい事へのチャレンジ」前

進」という意味に捉えられている。さて、作品傾向としては一般の部に力作、秀作が多いのには驚いた。また、高橋の出品が少ないのは残念だった。昨年の大河ドラマでは毛筆揮毫(もうひつぎ)のシーンが多くあり、一般の方々も少しは「憧れ」を持っていただけたものと思うのでそれを実践して書き初めにも毎年チャレンジしてください。

しんど

三年 安中さり

毛筆での書写は小学三年から習うが、すでに用筆法をしっかり体得して本文、名前共にバランスが取れている。線に強弱もあり、細部も手を抜かず集中して書けた。

の平和

六年 服部諒介

線のなめらかさ、潤いのある美しさを感じる作品。名前も本文同様、素晴らしい。字に大小の変化を組み合わせ、驚きとともに推挙した。

文化統一

中一 上村紫音

以前にも受賞経験があると思うが、とにかく空間処理が上手く、画数の多少に関わらず「白」が効く。筆先まで心が行き届き、線に狂いが無い。見事!

致春和風

吉田多美恵

やや小ぶりではあるものの、字形のとり方は群を抜いている。画数が多い字なので4字の組み合わせは難しかったかもしれないが、リズムを持ってよく収めた。名前もしっかり書いてほしい。

クロスワードパズル

答えは「オトシマ」でした。

【特賞 労金賞 旅行券5万円】
和泉 寛(新潟市職)

門倉 高雄(県職)

【特賞 こくみん共済coop賞 特別な日に選べるおまけ】
中村 昇(県職)

坪井久美子(県職)

内藤 理恵(県職)

伊東 正和(県職)

渡部 浩二(県職)

浅野 沙貴(新潟市職)

登坂 友一(新潟市職)

廣川 網枝(新潟市職)

木部 慎一(上越市職)

伊藤 林太郎(阿賀町職)

【1等 カタログギフト5千円】
錦澤登志美(新潟市職)

山崎 知里(見附市職)

重原 ゆかり(加茂市職)

倉島 隆夫(新発田市職)

【2等 東京風月堂コーフレット】
笹川 泰文(県職)

木村 望(新潟市職)

酒井 妙子(新潟市職)

佐藤 忍(上越市職)

高橋 隆一(長岡市職)

大矢 悠介(柏崎市職)

細山 絵美(柏崎市職)

玉橋 知美(三条市職)

大泉 千裕(三条市職)

渡辺 晃代(三条市職)

新保 直人(五泉市職)

織田 幸幸(村上市職)

佐藤 優樹(村上市職)

柴野 聖也(小千谷市職)

小野 広子(聖籠町職)

【3等 モノラルカレンダー】
南波ゆき子(県職)

石山 宏之(県職)

上石 謙一(県職)

井塚 翔(県職)

団体生命共済 加入者のための死亡・医療保障

じちろう退職者団体生命共済で

最長85歳まで保障を継続!

POINT 1

健康状態にかかわらず
移行加入できます

POINT 2

1年ごとの更新で
最長満85歳まで
継続できます

POINT 3

スケールメリットを活かした
手ごろな年払掛金・口座振替

POINT 4

組合員本人と一緒に
配偶者・子どもも移行加入
できます

契約にあたってはじちろう退職者団体生命共済のパンフレットをご覧ください。不明点があれば、まずは組合にご連絡ください。

こくみん共済 NEWS

5122F041

じちろう退職者団体生命共済

団体定期生命共済

こくみん共済(全労済)

自治労共済 推進本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。